

久留米支店

料金後納
郵便

ゆうメール

ACTIVE ASSOCIATION
LINK
中経協ニュース

人が 企業が 情報がLINKする
CHIKUGO 中経協

筑後中経協宣言

いきいき「人の輪」を創造し、広げよう
いきいき「ビジネスの輪」を創造し、育てよう
いきいき「情報の輪」を創造し、伸ばそう

vol.136
2021年3月・4月



今月の表紙:2021年2月4日開催 会員インタビュー コニシプラスチック産業

CONTENTS

- P2……会員インタビュー **プラスチック一筋、すべてに感謝** コニシプラスチック産業 代表 小西 洋三 氏
P4……2年間で振り返って 会長・副会長・委員長の言葉
P8……令和2年度中経協賞の報告・お知らせ・業務日誌・会員事業紹介



LINK
発行所

一般社団法人 筑後中小企業経営者協会

〒830-0035 久留米市東和町6-9 フジホーム久留米ビル TEL.0942(38)1061 FAX.0942(30)4802

URL <https://chukeikyo-c.com/> E-mail info@chukeikyo-c.com

コニシプラスチック産業

プラスチック一筋、すべてに感謝

この人に聞く



代表
小西 洋三さん

原油から作られるプラスチックは、現代人にはなくてはならない。今まで金属だったクルマのエンジンの部品にも使われるほど進化したこの素材を扱っているのがコニシプラスチック産業である。医療用試験管のキャップ製造に特化し、堅実な経営で業績を伸ばしてきた小西社長は見おだやかそうであるが、内面はとても熱い人。プラスチック成形作業検定委員も25年続けて務めているそうだ。



医療検査に使うプラスチックキャップを主に製造

田中 創業はいつですか？

小西 平成6年4月1日です。脱サラ後に一からスタートしました。当然かもしれませんが、家族は反対でした。そこで、「1年間だけチャレンジさせてくれ。」と期限付きにして何とか説得しました。その後は紆余曲折、様々な壁にぶつかり、何度となくピンチがありましたよ…。

私は、人に恵まれていると思うのです。沢山の方々にご支援いただきながら、何とかやってこられました。おかげさまで、今年で創業28年目を迎えられました。

田中 従業員は何名ですか？

小西 現在は9名です。現場担当が8名、経理担当が1名です。皆本当に頑張ってくれて、安心しています。久留米弁がよく飛び交っていて、聞いていて楽しいですよ。

田中 業種は何ですか？

小西 プラスチック加工業です。その中でも、射出成形作業にあたります。プラスチックは、熱可塑性プラスチックと熱硬化性プラスチックという大きく2つに分類されます。弊社で取り扱っているのは、熱可塑性プラスチックです。熱を加えて溶かし、成形して冷やし固めるという加工作業を行なっています。

ピーク時は月産900万個

小田 主力製品は何ですか？

小西 血液検査に使用する小さな試験

管のキャップを製造しています。

小田 生産量はどれくらいですか？

小西 現在は月に600万個くらいですが、ピーク時には900万個作っていました。それこそ、365日毎日機械を稼働させていました。

小田 主な取引先はどこですか？

小西 医療機器メーカーと取引しています。血液検査は1本の検体から、検査項目に応じて複数の試験管に分けなければなりません。しかし、人の手で作業するとなると、時間とコストがかかる上、異物混入のリスクが高くなります。この作業を自動化した、分注機という機械を世界で初めて製造した、熊本の企業です。

小田 取引に至った経緯は何ですか？

小西 先方は、分注機に必要な消耗品である試験管を作製しようとしていましたが、当時の担当者はプラスチックのことを全く知らず、不具合に悪戦苦闘していました。そのときに弊社に相談があったことがきっかけです。射出成形の工程では、仕上がった製品が機械から出てくるまで、経過を全く見ることができません。そこが難しいところです。不良の原因追究と対策にはある種の経験則が必要ですが、アドバイスをしても、最初はなかなか聞き入れてもらえませんでした。熱意を持って、丁寧に説明するというのを繰り返して、製品の不具合が徐々に改善されていくにつれ、信頼も得られていったように思います。その当時は他の仕事もありました

会社概要

所在地 三養基郡みやき町大字白壁4211
TEL.0942-89-2629
代表 小西 洋三
創設 平成6年4月1日
職員数 9名
業種 プラスチック製品の製造・加工

『オフィスのトータルプロデューサー』
橋本事務機株式会社
代表取締役社長 橋本 和幸
〒830-0023 久留米市中央町20番地-32
TEL.0942-34-3261 FAX.0942-37-1777

ワインと焼酎と清酒の専門店
ヴァンドール百年屋
代表 井上 俊久
〒839-0865 久留米市新合川町1丁目ゆめタウン久留米1階
TEL.0942-45-7122 FAX.0942-45-7751

保険を味方に未来を創る
株式会社 ベストコンサル
代表取締役 山下 剛司
〒834-0115 八女郡広川町新代1110
TEL.0943-32-5584 FAX.0943-32-5599

ので、相談を受けて先方へ伺うのが20時、そこから夜中まで試行錯誤を重ねながら作業する、なんていう日はザラにありましたね。今となってはかれこれ20年以上、お付き合いさせていただいています。

新工場完成、次のステージへ

秋満 新しい工場はどうか？

小西 構想に3年を費やし、令和2年2月に着工、9月に完成しました。以前からの夢を、ようやく実現させることができました。新工場では、材料供給、リサイクル材の回収、再生成、リターンまでの全てを自動化した、「一極集中システム」を導入しました。大幅な製造効率アップと製造の安定化を期待しています。また休憩室にもこだわりました。町工場とは思えない空間をコンセプトに(株)ツクリテの松永社長にコーディネイトを依頼し、満足のいく仕上がりにすることができました。従業員の皆も喜んでくれていますよ。



秋満 新システムのポイントは何ですか？

小西 一番のポイントは成形機にあります。プラスチック樹脂というのは、加工前に予備乾燥が必要不可欠ですが、予備乾燥無しでの成形が可能となりました。また、高分子材料であるプラスチックからは、融解時にガスが発生します。そのガスが製品不良を引き起こす最大の原因になります。しかし、新システムでは、発生したガスを除去しながら成形しますので、不良を低減させ、品質の安定を保つことができます。そうして完成した製品の良否の判別は、画像処理システムの検査装置で行ないます。これらにより、取引先へ高品質な製品を継続的に納められるのです。

秋満 今後の事業展開は？

小西 「多様性」や「変化」を柔軟に受け入れることを、年々求められるようになってはいましたが、今回の新型コロナで国民生活そのものの在り方がすっかり変わってし

まいました。今、いわゆる“これまでの下請企業のやり方”では難しいと思っています。注文が入ってくるのを待ち、そのままその受注通りに納品するだけでは、現状も先行きも厳しいことは明らかに目に見えていますよね。先細りしていく未来しかありません。客先に率先して提案する提案型の下請企業になれなければ、絶対にやっていけません。「変化」に対して、ただ受け身でいるのではなく、自らも「進化」していきたいと思っています。新工場を建て、出来る限りの設備投資をしましたから、弊社がこれまで培ってきた技術力を生かした、社会のお役に立てる新たな「何か」を追求し続けます。

小田 代表としての今後は？

小西 創業してから、ただひたすら目の前の仕事に懸命に取り組んで参りました。自分の子供に、会社を手伝わせたい、後を継がせたいとは思っていませんでした。私は、私の代で会社をたたむことになったとしても、それはそれでいいと思っていたのです。それが今年の夏に、長男が大阪から帰ってきました。長男から話があったときは大変驚きましたが、本人が本気であることをきちんと確認しました。私は全く気付いていませんでしたが、本人は以前より考えていたのだそうです。面と向かって二人で話すのは、ほとんど初めてのことだったかもしれませんね。正直に言うと、本当に嬉しかったです。二代目ができるというのは、とても心強いものなのですね。長男は31歳、私は62歳です。彼は、まだまだこれからです。今は現場の仕事を学んでいます、代表となれば会社の全業務を理解し、把握しておかなければなりません。そうでなければ、会社の舵取りなどできるはずがありません。世間の潮流をいち早く見極め、自らの全責任で会社の方向性を決断し、従業員を守ることが代表の役割です。厳しい局面も幾度も出てくることでしょう。私が伝えられることを全て伝えたあとは、また新たな会社にして欲しいと願っています。

感謝を忘れないこと

田中 最後に信条を教えてください。

小西 「常に、感謝の心を持つ」ということ



インタビュー中の一コマ

です。感謝は、とても美しい言葉だと思います。誰もが皆、簡単に口にはしますが、心の底から感謝することを知っている人は、強く、優しいです。また、よく聞く言葉ですが、「人間は自分ひとりでは生きられない」というのは、本当にその通りですね。父母がいなければ、そもそも私はここに存在すらしていませんし、これまでに出会えた方々がいなければ、今の私はいません。もし、イヤな相手に出会い、イヤなことを言われたとして、その瞬間は腹が立っても、その後ふと、この人は私に何かを教えてくださっているに違いないと気付かされます。過去の原因があつての現在の結果ですから、そう考えれば、偶然は無く、全ては必然ということになりますよね。どんなときでも、「おかげさま」の心は忘れずにいたいのです。そうして、周りからの恩を知ったら、精一杯、恩に報いたいと行動することは、人としてあたりまえのことだと思うのです。

「和」を重んじる、昔からの日本人の精神は、本当に尊いものですね。私は日本を誇りに思っています。そういえば、中経協で、国旗を大切にしよう、ということ言われたときは、共感しました。また、一昨年に筑後中経協が主催した、作家の百田尚樹さんを迎えてのチャリティー講演会に参加しましたが、とても有意義な時間でした。あのときは、終始感激しっぱなしでした…。信条の話から少し逸れてしまいましたね。私が、子や孫に繋げていきたいと思うものも、やはり「感謝の心」です。財産は採め事の種になってしまいますし、あつという間に無くなるでしょうが、豊かな心は揺るぎなく、ずっと残り続けると信じます。そんな心を持った子どもたちが増え、次代を担うリーダーになってくれたら、それは最大の恩返しですよね。

施設メンテナンス方法を見直し、現状に沿った最適な管理・運営をトータルプロデュース致します ～総合ビルメンテナンス業～

株式会社溝田

代表取締役 溝田 正樹

〒839-0852 久留米市高良内町2807番地5
TEL.0942-44-0135 FAX.0942-44-0137

充寛労務管理事務所

所長 隈 充寛

〒830-0037 久留米市諏訪野町2378-21
TEL.0942-33-5104 FAX.0942-33-3999

株式会社 森光商店

取締役社長 森光 栄一

〒841-8611 鳥栖市藤木町字若桜9-7
TEL.0942-85-1125 FAX.0942-83-8868

2年間で 振り返って

最所会長をはじめ、副会長、委員長の方に
この二年間を振り返っていただきました。



会長
最所産業(株)
代表取締役 最所 美博

「一寸先は光へ」

世界の情勢や日本での災害、そして人の命すらすぐその先はどうなるかわからない。大きな闇が待っているかもしれない、故に注意を怠らないようにという戒めの意味を込めて「一寸先は闇」という言葉が日本にはあります。

私達中経協は、経営者自身が研鑽を重ね社員さんの育成を図り、会員相互の交流や懇親を深めることで、会員企業の新たなビジネスチャンスや創出し地元経済の発展や活性化に貢献するという基本方針を掲げて参りました。そこで、二年前新たに就任いただいた各委員長さんへ例会後に開催する懇親会を企画運営していただき会員相互の交流促進を図ってもらいたいとお願しました。それは、中経協の会員数が年々増加の一途をたどり500社近くになり会員相互の交流機会が少なくなってきたのではないかと考えて、皆さんが参加できる例会後の時間を大切にしたいとの想いからでした。各委員会に企画運営してもらい2年で一巡する懇親会に、多くの会員さんに参加していただき交流が図れたと感じました。がしかし、1年目が終わろうとする昨年2月に「一寸先は闇」が始まりました。その闇の正体は新型コロナウイルスCOVID-19というなかなか厄介なものでした。人が集い語ることができなくなり、あらゆる事業が延期や中止となったことはただただ残念で悔しい思いでありました。ただ、副会長さんや委員長さんの発案でZOOMでの理事会やYouTube channelを開設しての事業配信、LINE WORKSでの連絡や出欠返信などデジタルツールを活用できたことはコロナ禍だからこそではなかったかと思えます。

筑後中経協会員の皆様、副会長、委員長の皆様、大変お世話になりました。もしも、今が闇に包まれているとしても、すぐその先に明るい希望が待っている「一寸先は光☆」だと信じ、まもなく迎える新年度がアフターコロナの新しい時代の幕開けであることを心から願っています。

最後になりましたが筑邦銀行佐藤頭取、中野代表取締役専務、石井前常務にはたいへんお世話になりました。また期の途中で急遽中経協専務として会のお世話をいただきました今村専務にはなにかとご苦勞をおかけしました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



副会長
(有)久留米映像
代表取締役 小田 洋子

広報総務委員会は、年間六回の協会広報誌LINKを主に発行しております。新型コロナウイルスの為、例会活動が中止になり、会員同士の交流がままならない中、会員さんと中経協を結ぶ一つの活路としてLINKは続けて行きましょ!!との熱い想いに支えられコロナ禍の大変な時期に会員企業さんに、取材の快諾を頂き幸いにも紙面を飾る事が出来ました。昨年の「特別号」として「コロナ禍における久留米飲食の状況」と題して、インタビューを頂きチラシ広告の全面掲載!!と言う新規活動にも取り組みました。LINK表紙の会員さんがマスク姿と言うのも初めてではなかったでしょうか?又、最所会長肝いりで「中経協会員懇親会」第一回目を、広報総務委員会が担当し各テーブルを干支で分かれ会員さん同士の交流となり、各委員会も優勝に向けて賑やかに盛り上がった例会は、楽しい思い出として残っています。

コロナ禍の中LINKの発行等、委員会活動がスムーズに運営出来たのは、田中委員長、野口副委員長、松延副委員長、そして委員会、会員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



副会長
医療法人 橋病院
常任理事 吉永 美佐子

我慢の2年→力をためて未来へ飛躍

人生、長く生きてきましたが、何が起るのか、本当にわからないものです。仕事柄、鳥インフル、豚インフルが騒がれる度に、感染が拡大したらどう防げばよいか、と考えたことはありましたが、こんなに全世界を巻き込んで、新たなウイルスが蔓延するなんて!何気なくやっていた事が、できなくなり、中経協活動もほぼすべてが出来なくなり、日常のありがたさが身に染み

た2年間でもありました。会議・飲み会も確かにオンラインでもできます。でも、人の笑顔の暖かさや、阿吽の呼吸までは画面からは読み取ることはできません。IT・AI推進といわれる中で、人と接することでしか得られない事を見失わないよう、そして、グローバル化した世界を改めて見直す、そんな我慢の年月だった気がします。

中経協会員企業の皆様が、連携しつつ試練を乗り越え、変化に対応しながら、地域の新たな発展への礎を創っていくことを、願っています。



副会長
井樋建設(株)
代表取締役 井樋 聰枝

1年目は、近場での海外研修で、中国、深センを訪問いたしました。中国版シリコンバレーとも言われており、色々な所を見学してきました。中でも、ドローン展示場は圧巻でした。最大手のDJIはじめ600社を超えるドローンメーカーがあるとのことでした。深センは、街中に監視カメラが設置されており、中国で最も安全な都市と言われており、きれいな所でした。さて2年目は、いよいよ遠方での海外研修ということで、夢はヨーロッパで色々な場所、単に観光地見学に終わるのではなく、SDGsへの取り組みがどのように活かされているかを見学して頂くことでした。日本では、SDGsに関して「持続可能な開発」と各項目ごとの数値目標が取り上げられております。SDGs先進国であるヨーロッパでは本来の目的である「世代を越えてすべての人が自分らしくよく生きられる」の実践が垣間見えるのではと思ったのです。

旅行社の方の助言を頂きながら、委員長、副委員長達が資料集め等々奔走してくれましたが、本年度は、残念ながら、海外視察はできませんでした。次年度以降、海外旅行に行ける日が来たら、ぜひ実現して頂けたらなと思っております。

井樋建設株式会社

代表取締役社長 井樋 聰枝

〒830-0049 久留米大石町507-2
TEL.0942-33-7371 FAX.0942-35-4521

金子建設株式会社

代表取締役社長 金子 泰大

〒830-0003 久留米市東薮原町487
TEL.0942-31-0001 FAX.0942-38-1361

弁護士法人 かばしま法律事務所

代表弁護士 梶島 修

〒830-0017 久留米市日吉町23-3 メディア7ビル6階
TEL.0942-39-2024 FAX.0942-39-2034



副会長
(株)執行茂寿園
代表取締役 執行 英利

コロナ禍の中、日常の生活が制限され、今まで当たり前が如何に自由にできていたかを思い知る事となった訳ですが、人間の営みが地球環境に大きな影響を与え、それが限度を越そうとする時期にこの状況になり本当に必要な物しか残せない社会状況に成らざるを得なくなるとすれば、これはある意味地球の自浄作用かもしれない。中経協の活動も今後形を変え、内容を吟味する事は必要になるかも。

さて、委員会事業の企業視察は本年中止とせざるを得ない状況下で、もう一つの事業である出前事業については、12月開催で動いていた信愛中学校・高等学校については、かろうじて緊急事態宣言の発令前でしたので、開催できました。予定していた他の2校も経営者の生の声を学生に聞かせる貴重な機会として期待されていたので残念ではあったが是非、今後も続けて頂きたい。リモートや録画での開催も必要に応じて一考の価値ありと思います。



副会長
学校法人藤田学園
久留米あかつき幼稚園
理事長 藤田 喜一郎

私がコロナから学んだこと

担当したビジネス交流委員会の活動については、末安委員長に譲るとして、コロナ禍の中での雑感を三点記します。

第一に親しい人に会いたくても会えない、という状況を皆が体験しました。その一方で「目の前にいなくても、その人がいると思うだけで幸せになれる、そんな『その人』がいる人は幸せ(谷川俊太郎)」を感じる事が出来ました。

第二に「デジタルは便利だけど、ときめかない」ことを理解しました。コロナ後に人々がリアルを求めるようになった時、ときめかない商品やサービスは、見向きもされなくなることを、今から心すべきでしょう。第三に何気ない日常は、けてして平凡ではなく「普遍」であったことを知りました。また「孤独の上質化」も深化しました。

知り合いの東京の幼稚園では、リモートワークになり都内に住む必要がない、という理由で転居する家族が珍しくないそうです。このように世の中は大きく変わろうとしています。これからのビジネスに求められるのは、より高い普遍的価値です。それを求める経営者にとって、筑後中経協が常にその一助となる組織であることを願って止みません。



副会長
大和建設(株)
取締役相談役
渡辺 次郎

『田中克明委員長・後藤あけみ副委員長・松永由紀子副委員長、さらに委員会メンバーの方々』にお支え頂き、私自身のいたらない点多々あったと思いますが、2年間を終えることができました。

本当にありがとうございました。

さて、現在の『コロナ禍』におきましては、『ワクチン接種等々の医療施策』が効果をあげて、一日も早く安全で平和な日常を取り戻せますよう、お祈り申し上げます。



副会長
(株)アビックス
代表取締役 高崎 弘明

輝く筑後委員会とITプロジェクトを担当させて頂きました。どちらも新たな取り組みを企画立案するグループで、筑後中経協に新奇な旋風を巻き起こせるのではと、胸躍るスタートでした。

輝く筑後委員会は、SDGsに焦点をあて中経協として環境問題への取り組みを提言する足がかりとなる事業を計画し準備を進めてきましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で実行することが出来ず担当委員会は残念な思いをしました。しかし、もう一つの役割である中経協賞の選定は、素晴らしい企業を推薦することが出来たと思います。

ITプロジェクトは、会のIT化を推進するという役割を頂きました。まずはホームページを改善し、PCのみならずモバイル環境に適したものに作り替えて貰いました。更に会員間の情報の共有を強化するためにLINEWorksを導入し、勉強会を開催して貰い来期以降のIT化を進める一助になったと思います。双方の事業が更に発展することを願っています。2年間有り難うございました。



副会長
中央製袋(株)
代表取締役社長 赤司 欣也

経営向上委員会とおなご会の担当副会長をさせて頂きました。経営向上委員会では、坂田委員長のもと、令和1年8月に「自社の戦略課題がわかるビジネスモデルの分析と再構築セミナー」と題して、(株)わかば経営会計 岡本 華奈先生による経営向上セミナーを開催させて頂きました。また、令和1年9月に「若者と地元経営者との交流会」を久留米大学御井学舎にて開催いたしました。そして、令和2年3月に第2回経営向上セミナーを開催しようと試みましたが、残念ながらコロナ禍での開催を断念せざるを得ず、その後は、ことごとくセミナーを見送る形となりました。田中会長のおなご会につきましても、令和1年10月の視察研修以降のイベントが中止となったために、田中会長も悔しい思いが残っているかと思います。しかし、この体験が自社のBCP体制強化の契機になりましたし、全世界が遭遇しているコロナショックを乗り越えたあとの景色を想像しながら、できるだけ前向きに行動していくことが大切だと感じています。

力不足もあり、副会長としての役割を充分果たせませんでした。事務局はじめ委員会・おなご会の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



副会長
西日本産業(株)
代表取締役 今村 公榮

二年間、例会委員会・会員拡大プロジェクトを担当させて頂きました。二年間を振り返ってみますと、一年目は順調に会員数も伸び総勢470社を超えるまでとなり、二年目で大台の500社は間違いなく到達すると思われていました。また、例会委員会も一年目は趣向を凝らし様々な講師をお招きし、会員の皆様に良い情報発信が出来たのではないかと考えております。

しかし、二年目には新型コロナの世界的流行、そしてどの程度危険なウイルスかわからない中で活動は制限され、会員数も伸び悩み、また例会も会員の皆様に喜んで頂ける講師を準備していただけないまま、例会を中止しなければならぬ苦渋の選択は本当に苦しく残念でなりませんでした。

ただ、暗い事ばかりではなく、会員数は増えませんでした。このコロナ禍でも退会者も少なく、会の価値を十分理解している会員の皆様が増えたのだと実感できたことは嬉しい限りです。例会も多数で集まる事が出来ない中で新たな試みとして会員専用YouTubeチャンネル構築など新たな情報発信も出来ました。『明けぬ夜はない』と考え、また皆様と元気に活動できると確信し、二年間のお礼とさせて頂きます。有難うございました。

株式会社キャリア・リード

代表取締役 佐藤 有里子

〒830-0035 久留米東和町44ウイングコート久留米1F
TEL.0942-35-3340 FAX.0942-35-3395

さまざまな要望をビデオ化する 有限会社久留米映像

代表取締役 小田 洋子

〒830-0001 久留米市小森野5丁目10-12
TEL.0942-33-7781 FAX.0942-33-7789

清涼飲料と自動販売機のことなら 久留米ペプシコーラ販売(株)

代表取締役社長 伊藤 孝

〒830-0052 久留米市上津町向野2228-417
TEL.0942-21-8321 FAX.0942-21-8323



おなごし会 会長
(有)ティーズデザイン
代表取締役 田中 たか子

2年間の、おなごし会活動で唯一実施できたのが、2019年10月の三谷幸喜作・演出「愛と哀しみのシャーロックホームズ」鑑賞でした。シャーロックホームズは如何にして、偉大な名探偵になったのか?素晴らしい作品に引き込まれ、あっという間の3時間でした。

2020年、夢と希望にあふれたオリンピックイヤーの幕開けに、新型コロナウイルス感染拡大など誰が想像したことでしょう。

重ね重ね残念でならないのが、3月に予定しておりました「朝倉復興支援視察と桜の宴」です。どうしても、小野屋さんの離れで桜を観たい!と、今年3月に再度計画をしておりましたが、緊急事態宣言の延長となりました。

何もできないまま2年間の活動を終えることとなりますが、ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。

次年度の、おなごし会を期待しております。



地域交流委員会 担当委員長
建築デザインOFFICE
本田敦子
代表 本田 敦子

地域交流委員会の主な活動は、「地元企業視察」と「出前授業」です。昨年度の企業視察は、長崎県佐世保のジャパネットタカ様へ訪問し、いつもテレビで拝見しているテレビショッピングの様子や、生放送中にかかってくる電話に対応してるコールセンターなど見学させていただきました。

出前授業では、「三井中央高校」「信愛高校」「久留米商業高校」にて経営者の方々に様々なお仕事のこと、経験談などを生徒の方にお話しさせていただきました。いろんな工夫をされ、生徒さんにわかりやすくお話をされる経営者の方、素敵でした。内容も幅広く、多くの方にぜひ聞いていただきたいものでした。

残念ながら、今年度はコロナ影響により、企業視察は見送りに、出前授業は信愛高校のみの結果と成りました。

2年間、地域交流委員会に携わせていただき、多くの方々に出会い、また、協力をいただき私なりに成長させていただけたと思っています。ありがとうございます。



輝く筑後委員会 担当委員長
(株)さくら保険サービス
代表取締役 原 弘文

2年間で振り返り、初めに最所会長、高崎副会長、仲山副委員長、坂東副委員長、大藪副委員長、並びに関係スタッフの皆様へ感謝申し上げます。

事業活動草案時に、さまざまなご意見を頂いた皆様にも感謝申し上げます。

輝く筑後委員会では、筑後地区の活性化をテーマに、いくつかのプランから事業内容を試行錯誤し、最終的な事業決定に至った直後に、新型コロナウイルス感染の影響で中止を余儀なくされました。九州トヨタ工場の取組をヒントに、SDG,sを推進するといった事業が出来なかったことは残念でなりません。しかし、次年度の新しい理事の皆様による素晴らしい事業が展開されることを心よりご期待申し上げます。

2年間、本当にありがとうございました。



広報総務委員会 担当委員長
田中憲治税理士事務所
税理士 田中 憲治

広報総務委員会において一番の目玉は会員企業を訪問して、好き放題インタビューをし、社内を見て回れること。特に、この1年間は新型コロナの影響で各委員会とも活動が制限されるなか、会員企業への取材活動は通常どおり行うことができました。

この2年間、9事業所と2グループを訪問、取材させていただきました。普段から仲良きさせていただいている会員企業の皆様ではありますが、改めて「会社に対する想い」「経営の醍醐味」「従業員・地域に対する想い」等を聞かせていただき、私自身の励み、肥やしとなることばかりでした。

取材に協力していただきました会員企業の皆様には厚く御礼申し上げます。また、今回より、従来の「広報委員会」にはなかった事務局運営のサポートという役割がありました。増加する会員企業に対して、事務局スタッフの規模は変わらず、激務であることの認識を持つことと、雑用のお手伝いに終始してしまっただけは大いなる反省点です。今後とも総務経験者として事務局運営に協力していく所存です。



社員育成委員会 担当委員長
田中藍(株)
取締役専務執行役員 田中 克明

これまで経営向上委員会、ビジネス交流委員会の委員長をやらせてもらい社員育成委員会で三度目の委員長拝命でした。私の方針として、まず一年目は前例を踏襲し二年目に自分なりの構想で思い切った事業をやる計画でしたので、正にその二年目にコロナに手足を縛られた状態となり何も出来ず、今もって残念で仕方ありません。

結果、数少ない事業活動となりましたが、その中でも一年目に「社員研修バスツアー」と称して地域を代表する隠れたグローバル企業の「株式会社関家具」様と「株式会社尾形養鯉場」様の二社を訪問させていただいたことは今でも鮮明に記憶に残っております。家具について身振り手振りを交えて熱く語られる関社長のお言葉や日本の伝統文化で正に「泳ぐ宝石」の錦鯉を日本のみならず海外に発信しブランド化に成功されておられる尾形社長ご夫妻の手厚いおもてなしには、研修の参加者全員が深い感銘を受けました。

志半ばで委員会活動を終える訳ですが、この様な未熟な私を温かく見守って頂いた渡辺次郎担当副会長と両脇でしっかり支えて頂いた後藤あけみ、松永由紀子両副委員長にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。「ありがとうございました」

結果、数少ない事業活動となりましたが、その中でも一年目に「社員研修バスツアー」と称して地域を代表する隠れたグローバル企業の「株式会社関家具」様と「株式会社尾形養鯉場」様の二社を訪問させていただいたことは今でも鮮明に記憶に残っております。家具について身振り手振りを交えて熱く語られる関社長のお言葉や日本の伝統文化で正に「泳ぐ宝石」の錦鯉を日本のみならず海外に発信しブランド化に成功されておられる尾形社長ご夫妻の手厚いおもてなしには、研修の参加者全員が深い感銘を受けました。

志半ばで委員会活動を終える訳ですが、この様な未熟な私を温かく見守って頂いた渡辺次郎担当副会長と両脇でしっかり支えて頂いた後藤あけみ、松永由紀子両副委員長にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。「ありがとうございました」



経営向上委員会 担当委員長
(株)坂田ガス住設
代表取締役 坂田 博輝

経営向上委員会ではこの2年間で2回の経営セミナー、1回の若者と地元経営者との交流会を開催いたしました。2年目はコロナの蔓延により経営向上セミナーの延期や若者と地元経営者との交流会が中止になり満足な活動ができませんでしたが、不測の事態への対応など貴重な体験ができたと思っています。

セミナーや交流会運営に御協力頂いた委員会メンバー及び講師そして大学関係者の皆様、大変ありがとうございました。

第一回経営向上セミナー
株式会社わかば経営会計 岡本 華奈 氏「ビジネスモデルの分析と再構築セミナー」
第二回経営向上セミナー
オフィスファイン 中村 早岐子 氏
「ほめる事で、社員の心を掴み職場を替え作って行く業績アップセミナー」
若者と地元経営者との交流会 参加大学
参加いただいた学生さんと経営者で就職活動や仕事のこと等、活発な意見交換ができました。
久留米大学・久留米信愛短期大学・久留米工業大学・中経協参加企業 25社

人材派遣・職業紹介はクローバーへ 株式会社クローバーサポート

代表取締役社長 伊福 悟

〒830-0033 久留米市天神町8番地リバー3F
TEL.0942-31-1400 FAX.0942-35-9681

最所産業株式会社

代表取締役 最所 美博

〒839-0861 久留米市合川町90
TEL.0942-43-3754 FAX.0942-43-3542

人材派遣・総合アウトソーシング (株)サカイコーポレーション

代表取締役 坂井 英二

〒830-0027 久留米市長門石2丁目9-28
TEL.0942-50-5651 FAX.0942-50-5652



例会委員会 担当委員長
中央印刷(株)
代表取締役 富安 康太

2019年の総会より担当させて頂き、総会・懇親会には会場に入りきれないほどの会員の皆様が集まっていたこと感謝申し上げます。

7月には、ぐっちーさんと山口正洋氏による「日本経済の現状と今後について」と題して講演いただきました。9月には百田尚樹氏をお招きして「今こそ日本の素晴らしさを知ろう」と題してチャリティー講演をいただき、百田さんにはその後の懇親会にも参加してもらう事ができ、懇親会でお話は改めて日本に生まれ育ったことへの感謝の気持ちになりました。元号が令和に代わったこのタイミングで百田氏に講演いただけたことは忘れられない思い出となりました。

11月例会で講演いただいた悪の秘密結社は現在KBCでドゲンジャーズが放映され活躍中。2020年からは新春例会は開催できたものの1年間は例会も開催できず残念ですが、いろいろな経験をさせて頂きありがとうございました。



会員拡大プロジェクト 議長
(株)ベストコンサル
代表取締役 山下 剛司

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、会員拡大の活動が思い通りに出来ない2年間でした。

私どもは、2年間で500名の拡大目標を掲げ昨年の3月迄は新規会員を45名増やし、在籍数を481名まで伸ばすことが出来ました。しかし、その後は会自体の事業開催も自粛となり拡大のために行っておりました新入会員交流会も開催する事が出来ませんでした。

そんな中でも5人の新入会員の方に入会頂き心よりに感謝しております。結果的には、2年間で50名の入会者そして32名の退会者となり2月時点での在籍数は471名となりました。目標を達成出来なかった事に悔いは残りますが、この素晴らしい筑後中経協の発展の為にプロジェクトメンバー全員で次年度以降も協力して参りたいと存じます。

最後になりますが、会員拡大にご協力を頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。



ITプロジェクト 議長
(株)ジーサイトプランニング
代表取締役 新留 雅和

ITプロジェクトは、会全体のIT推進化と会員企業の皆様に何か一つでも役立つ情報をお伝えし、各企業のIT化のヒントにいただくことがミッションでした。まず着手したのは、会の活動状況などを対外対内へ情報発信するためのツールとして「スマホに対応したWEBサイトへのリニューアル」と、事務局と会員企業間の連絡の簡素化のために「LINE WORKSの導入」、紙資源や印刷コスト軽減のために「理事會資料の電子化」の3つでした。

今までは、理事会前に膨大な資料を人数分印刷製本し、重い紙資料を旅行用のキャリーバッグで合田さんが毎回運んでくださって机の上に丁寧に配布してくださっていました。そんな光景を見るのが無くなったことは、小さな一歩かもしれませんが会のIT推進化の一助になれたのではないかと考えております。まだまだFAXでの連絡先が90件も残っている状況ですので、今後も時間をかけて取り組む必要性を感じています。

2年間ではございましたが、ご協力いただきました皆様には心から感謝しております。



ビジネス交流委員会 担当委員長
エースポンド(株)
代表取締役社長 末安 真次

振り返るとあつという間の2年間でした。初めて委員長を仰せつかり、右も左もわからぬまま今までいかに役員の方々の段取りの元にぶら下がっていたのか気付かされました。そんな中で、1年目は藤田副会長や高井副委員長、堀江副委員長の協力のもと、会員の皆様のビジネスのお役に立てるよう、手探り状態で企画しながらも、想いがけず、百田尚樹さんには懇親会の最後まで参加頂き、会場全員が感動するお話を聴く事ができました。

2年目には更に充実した企画をともしましたが、2020年はコロナに振り回されました。それでも、2月の新幹線車両基地へのバス視察や12月の陰山建設の陰山社長様の講演会など、本当に委員会メンバーや会員様のご協力のもと、ギリギリのタイミングの中で、感染者を出すことなく無事に開催できました。まだまだ感謝したい方がいっぱいですが、皆様に支えてもらいながらの2年間でした。有り難うございました。



社員親睦委員会 担当委員長
(有)いきいきリハビリケア
代表取締役 深井 伸吾

2年間社員親睦委員会の委員長を務めさせて頂きました。

最所会長から声をかけて頂き、初めての委員長という責務でしたが、吉永副会長、平城副委員長、北原副委員長はじめ多くの社員親睦委員会に所属された委員の皆さんに前向きにご協力して頂いたおかげで、①クローバーの会②社員コミュニケーション事業と二つの事業を目的を達成する形で執り行う事ができました。

委員会・懇親会なども含めて、委員の皆さま、社員コミュニケーション事業運営の若手メンバーと交流できたもの財産になりました。2年目となる2020年はコロナの影響で事業を実行する事ができなかった事は残念でしたが、この2年間の経験を今後活かしていきたいと思っています。委員長として不十分な事もあったかと思いますが、多くの皆さまに携わって頂き、本当にありがとうございました。

また今後ともよろしくお願い致します。



国際交流委員会 担当委員長
牛島商事(名)
久留米ホテルエスプリ
総支配人 牛島 純一

今年度、初めて委員長の担いをさせて頂いておりますが、今から約2年前、最所会長より国際交流委員会委員長を仰せつかった時は、「海外視察に行く!!」ののだと、半分は浮かれ楽しみしておりましたが、まさか2020年1月よりの新型コロナウイルス感染症の影響により2020年以降の委員会事業・活動がほとんど出来ない状態になるとは思ってもみませんでした。

そんな中、2019年9月に色々な意味でのギリギリのタイミングで行く事が出来た『深セン・マカオ海外視察』では、様々な学びがあり、マカオのホテルでの最所会長サブライズ誕生会など貴重な思い出も出来ました。

満足な活動も出来ない中でも、2年間に渡り貴重な機会を頂きまして、大変感謝しております。またお支え頂いた、井樋副会長、伊藤・緒方副委員長をはじめ委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

地域密着で人と企業を繋ぐ、人材派遣・業務請負業
スター・ヒューマンズサービス株式会社

代表取締役 中島 和久

〒830-0016 久留米市通東町2番地8
TEL.0942-65-6322 FAX.0942-65-6323

設備投資の事ならおまかせ下さい。
ちくぎんリース株式会社

代表取締役社長 田中 靖正

〒830-0032 久留米市東町37番地3
TEL.0942-38-1488 FAX.0942-38-3735

品質とスピードの印刷
中央印刷株式会社

代表取締役 富安 康太

〒830-0025 久留米市瀬下町38
TEL.0942-33-0388 FAX.0942-33-0389

会員事業紹介

ご自宅で簡単・手軽

PCR検査

唾液採取用検査キット



ご自宅で
唾液を採取後
キットを郵送

送料無料 返信用封筒付


中経協会員価格

税込 **3,300円**

ご注文の際
「中経協の広告を見ました」
とお伝えください

※唾液検体につき、新型コロナウイルスに特徴的なRNAが検出されるかの検査状況を（高リスク/低リスク）にてご報告いたします。
※感染の有無については専門の病院又は最寄りの保健所にご相談ください。

緑と生活を繋ぎ、人々の豊かな暮らしに貢献します。

 平城商事株式会社 〒830-0055 久留米市上津1丁目10-35
TEL 0120-94-7330

お知らせ

会員の變更

(株)JTB

変更前:九州広域代表福岡支店長 井上 浩一 氏

変更後:九州エリア広域代表兼福岡支店長 篠崎 和敏 氏

3月～4月 催事情報

第1回経営向上セミナー

期日:3月18日(木) 13時30分～16時30分

会場:久留米シティプラザ 大会議室

3月例会・懇親会

期日:3月25日(木) 16時00分～20時00分

会場:ホテル マリタール創世

講師:小澤太郎氏 久留米市市民文化部文化財保護課 主査
環有明歴史考古学研究所 代表

業務日誌

1月13日 正副会長会議・理事会(筑銀)

1月20日 若葉会(中止)

1月28日 新年例会(中止)

2月 4日 会員インタビュー

(コニシプラスチック産業)

2月10日 正副会長会議・理事会(筑銀)

謹んでお悔やみ申し上げます

(有)ティーズ・デザイン 代表取締役 田中たか子様のご岳父(ご主人のお父様)

田中信一様が令和3年2月14日永眠されました。

令和2年度 中経協賞の報告

輝く筑後委員会では、筑後地域で活躍し地域社会のみならず、世界に羽ばたく貢献をしている事業所様を選出し、「輝く未来賞」として毎年表彰を行っています。

今年度は、久留米市山川市ノ上町にある、株式会社丸信様を選出させていただきました。丸信様は、シール、ラベル印刷や、包装資材、紙器加工商品などを手掛けるトータルパッケージ企業で、2019年度世界ラベルコンテストにおいて、複合ワインラベル部門での最高位となる「Best of Best」を4度も受賞されており、国内大会では6年連続の受賞歴をお持ちでいらっしゃいます。

また、育児に追われる保護者の就労支援のために、子供たちの生きた英語教育、子供の個性を育む保育園事業にも積極的に取り組んでおられます。

この度の受賞、本当におめでとうございます。



あなたのまちの
筑邦銀行



筑邦銀行
キャラクター
チカッパ

久留米市諏訪野町2456番地の1 TEL 0942-32-5331

